

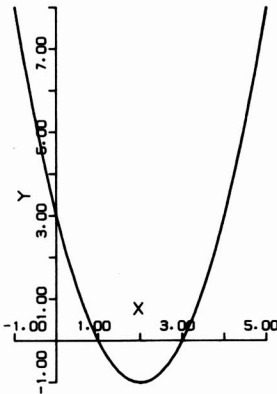
定の図形が得られる。

次に二次関数(図-4)、二次関数の両対数座標への出力(図-5)、三次関数(図-6)を例に自動製図機へ出力された結果を示す。

図-4 $y = x^2 - 4x + 3$

二次関数 $\langle Y = A * X ** 2 + B * X + C \rangle$

A = 1.0
B = -4.0
C = 3.0



自動製図描画

福島県教育センター

図-5 $y = 0.5x^2$ 両対数座標に出力

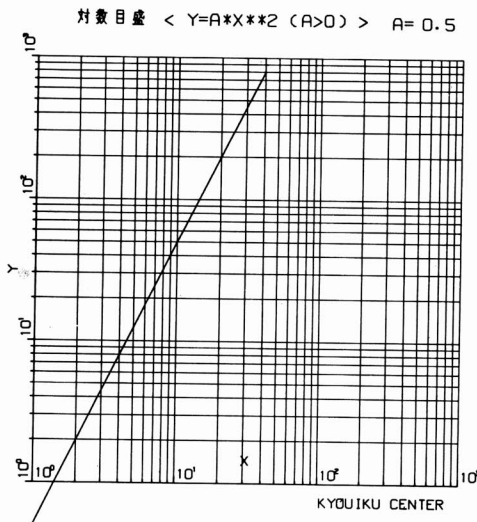
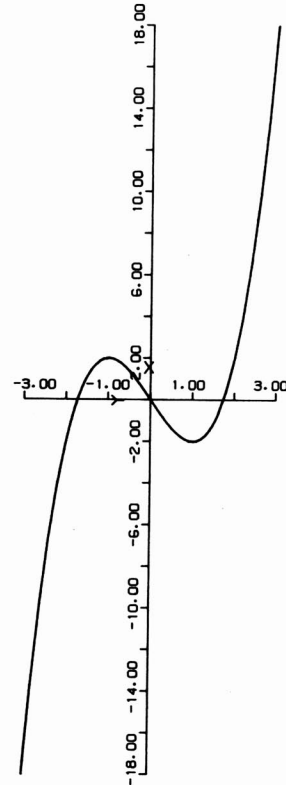


図-6 $y = x^3 - 3x$

三次関数 $\langle Y = A * X ** 3 + B * X ** 2 + C * X + D \rangle$

A = 1.0
B = 0.0
C = -3.0
D = 0.0



4. おわりに

コンピュータは今や社会・経済の発展だけでなく、日常生活においてさえ重要不可欠なものになるようとしており、マイクロエレクトロニクスやメカトロニクスの進展は、新たな産業革命とさえいわれている。

コンピュータは、正確で超高速な記憶や計算能力などすぐれた能力を持っているが、創造力を必要とする仕事には不向きである。

創造力や総合的な経験、知識を組み合わせさせた意志決定の仕事は、人間の能力が勝っている。

コンピュータに、どのような仕事をどのように処理させるか、これは、人間が決めることである。

参考文献

- ・自動製図システム 日本図学会編 日刊工業
- ・FACOM JEF解説書 富士通